



理工学専攻機械システム工学コースの大学院生が
計測自動制御学会九州支部学術講演会学生発表交流会において
最優秀発表賞と優秀発表賞を受賞

【概要】

令和2年11月28日(土)～29日(日)に開催された第39回計測自動制御学会九州支部学術講演会学生発表交流会において、理工学専攻機械システム工学コース修士課程1年 永江 快成 君が最優秀発表賞、同1年 中川 裕貴君が優秀発表賞を受賞しました。

【本文】

計測自動制御学会九州支部主催「第39回計測自動制御学会九州支部学術講演会学生発表交流会」が令和2年11月28日(土)～29日(日)にオンラインで開催されました。学生発表交流会は、計測自動制御学会九州支部学術講演会での一般講演発表とは別に、学生間および一般会員との交流を深めることを目的とし、今年度は8件の発表がありました。審査委員は、あらかじめPDFファイルで提出されたポスターを閲覧し、ポスター発表は1名10分の持ち時間で発表後にオンラインで質疑応答する形式で審査が行われました。このような厳格な審査により優れたポスター3件が選出され、理工学専攻機械システム工学コース修士課程1年の永江 快成 君が最優秀発表賞、同コース修士課程1年の中川 裕貴君が優秀発表賞を受賞しました(両者の指導教員：佐藤 和也 教授)。

○最優秀発表賞

理工学専攻機械システム工学コース修士課程1年 永江 快成 君

(指導教員：佐藤 和也 教授)

題目：原子力施設廃止措置に向けた耐放射線カメラを用いた水中ロボットの半自律移動制御

○優秀発表賞

理工学専攻機械システム工学コース修士課程1年 中川 裕貴 君

(指導教員：佐藤 和也 教授)

題目：深層学習を用いた人検出による人間追従ロボット車の開発



受賞した永江君（左）、中川君（右）と表彰状